

双極性障害（躁うつ病）とつきあうために

1. 双極性障害（躁うつ病）だと気づくことが第一歩
2. 双極性障害の症状を知ろう
3. 双極性障害とつきあうために：患者さんご自身が心がけること
4. 双極性障害の治療薬の効果と副作用
5. 双極性障害の精神療法
6. ご家族へのお願い
7. 双極性障害の原因
8. 双極性障害の診断・治療に専門的に取り組んでいる医師のを見つけ方
9. 双極性障害に関する研究について



2015年10月12日

日本うつ病学会 双極性障害委員会

8. 双極性障害の診断・治療に専門的に取り組んでいる医師の見つけ方

双極性障害の治療を専門とするのは、精神科医です。心療内科医、神経内科医にとって、双極性障害は専門外です。

うつ状態の場合は、近くの精神科開業医（メンタルクリニック）を受診するのが良いでしょう。精神科開業医もさまざまな診療科目を掲示していますが、「心療内科・精神科」「神経内科・精神科」「神経科・精神科」などは、多くの場合精神科医でしょう。

初めての躁状態で、入院が必要になる可能性がある場合は、最初から、入院のできる精神科病院を受診しておく方がはるかに安心です。開業医で入院を勧められても、病院に行くまでにまたひと悶着がある可能性が高いからです。しかし、退院してからの予防療法は、近くの精神科開業医（メンタルクリニック）で大丈夫です。

どのような病院があるか、どの程度経験のある医師かなどについては、日本精神神経学会の研修病院名簿、指導医名簿が参考になるでしょう（<http://www.jspn.or.jp/specialist/search/index.html>）。

双極性障害の診断・治療に専門的に取り組んでいる医師については、日本うつ病学会の双極性障害委員会の委員とフェローのリストが参考になるでしょう。（<http://www.secretariat.ne.jp/jsmd/sokyoku/index.html#03>）

また、その地域担当の保健所のケースワーカーさんや担当保健師さんに聞くと、近くの精神科の評判について教えてくれるかも知れません。